

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471503478		
法人名	(有)会社 親和		
事業所名	鞆の浦・さくらホーム		
所在地	広島県福山市鞆町鞆552番地		
自己評価作成日	H29年2月12日	評価結果市町村受理日	平成29年3月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	広島県福山市平成台31-34
訪問調査日	H29年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「その人らしさが発揮できるホームにする。家族と地域につなげるホームにする」を理念に掲げ、玄関はいつも開放し、地域の方、馴染みの方、通りすがりの方がいつでも誰でも入れられるようにしている。また、入居されていても、住み慣れた家への帰宅や馴染みのお店への買い物、地域の人達との交流が出来るよう個々に合わせた支援をさせて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鞆の浦の観光名所の一角にあり、古民家を改装し事業所としている。古民家の良さを残した建物は、大きな柱や梁に守られ落ち着いた雰囲気、居心地の良さを感じる。事業所理念は「その人らしさを発揮できるホームにする。家族と地域につなげるホームにする」掲げ、鞆の街づくり活動に事業所も積極的に参加し、地域住民と共に地域の活性化に取り組んでいる。利用者は外出の機会も多く、地域住民との交流が日常化している。また家族やボランティアの協力を得て、様々な行事を行っている。職員研修にも積極的に取り組み、職員のレベルアップを図っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	特定非営利活動法人 あしすと		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	リビングの目の届くところに掲示し、いつも確認をしている。	理念は、誰もが目にしやすい事業所の入り口やリビングに掲示している。毎日のミニミーティングや月に1度のミーティングで、ケアが理念に沿ったものであるかを確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が地元の方であり、家族や地域の方の訪問が日常的にある。また、町内の行事やお祭りなど利用者と共に交流する機会がある。	利用者全員が地域の方のため、地域住民との交流が日常的なものとなっている。地域のお祭りやサロンにも常に参加し、利用者・職員ともども地域の一員という意識を持っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域事業(いきいきサロンやコミュニティーセンターでの高齢者交流事業、助け合いたい講座等)へスタッフが参加し、介護保険や近隣付き合いの大切さ、認知症等の紹介や講演をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族会を兼ねる事もあり、横のつながりを作ることで、介護者の気持ちを支えている他、コンサートや講演会、野球観戦、花火大会等で地域の方との交流も積極的におこなっている。	会議には家族・町内会会長・民生委員・市支所・包括などの参加を得ている。事業所や地域の行事など、種々の活動を運営推進会議のメンバーと共に行う機会も多く、この機会を通して、事業所の活動や利用者の状況などの理解や意見を得よう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	手続きなどで日常的に訪れ情報交換を随時行っている。また勉強会・運営推進会議などへ参加して頂いている。	認定更新手続きの他、日常的に地域の町づくり活動のメンバーとして活動することで、交流の機会も多い。公民館で行われる研修の講師として、職員がそれぞれの専門性を活かし、講演も行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員がある程度理解しており、前向きに取り組んでいる。居室には、鍵がなく玄関のドアはいつも開放されている。	夜間は防犯のため施錠するが、日中は解放している。転倒のある利用者については、いかに安全な環境を提供するかミーティングで話し合っている。無断離荘する利用者には、行動パターンを把握することに努め、鞆にGPSをつけたり、交番やバスセンター職員に協力を依頼している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は虐待が見過ごされる事がないよう防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	パンフレット等を通じて、知識の向上に努めているがあまりできていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、書類を基に説明をさせて頂いている。また、契約後も、不安や疑問等があればいつでも対応させて頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の場面や家族の面会時、行事等を通じて意見や要望等を確認し、反映出来るよう努めている。家族会の後意見交換する懇親会も検討中	職員は、日常会話から利用者の要望を引き出すよう努めている。家族の面会時には、利用者の状況を説明し、意見や要望を把握し運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や管理者会議を行ない、各部署での状況報告やホーム全体での課題解決にできるだけ取り組んでいる。	月2回のグループホーム会議で出た職員の意見や提案は、毎月の管理者会議や運営会議で検討し反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者手当や職務手当、育児手当等を支給している。また、家族の子育てや介護等を抱えるスタッフへは働きやすい勤務を組んだりできるだけ定時で終業出来るようスタッフ間でも協力・業務改善を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内での勉強会企画・実施をしている。また、他部署との情報共有の為、各部署での外部研修参加後はミーティング時報告や報告書の配布を全体で行なっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	随時他施設との勉強会があればできるだけ参加して他事業者と情報交換を行っている。不定期ではあるが他施設の実習生受け入れや見学会等を随時行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴と共感を行ない、言葉で意思を伝えられない利用者には、職員が五感を働かせ利用者の発する思いをくみ取りながら、信頼関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いや要望に耳を傾け、面会時状況報告、電話連絡等を行いながら、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できるだけ本人のニーズに合わせたサービス利用・対応を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	築けるよう努めているが、時折職員が、一方的に介護をしてしまっている場面を見かける事もある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と情報交換や協力をしながら、共に支えていく関係を築けるよう努めている。家族の中には、家族と利用者が互いに支えられている関係の方もおられ、一緒に支えられる喜びを感じておられる方もいる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の方が希望されれば、自身の家や馴染みのお店、近所等へ一時帰宅や外出をしている。その際には幼馴染の方や近所の方がよく声をかける。	利用者は、事業所近くの駄菓子屋で店番をしたり、日中は事業所前に置かれたベンチで自由に過ごすこともできるため、地域の馴染みの方に声を掛けてもらう機会が多い。また、それぞれの利用者が住んでいた各地区の祭りにも職員と共に、参加している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関わりの時間と、一人でゆっくり過ごせる時間を両立させながら支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了された家族の方とも施設での行事や講演会、勉強会等にはお誘いをさせて頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ本人の思いに添える対応を目指しているがなかなかできない事がある。	「今日は天気がいいけど、何をする？」等、利用者の思いや要望を引き出す声掛けをしている。利用者の思いを実現するために、職員だけで難しい場合は、家族やボランティアの協力を得る努力をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本的なことはフェイスシートにまとめている。また日々の関わりの中で情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌、生活記録、職員の情報交換などにより現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常的に本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	利用者・家族・職員の意見をもとに、月1回のミーティングでモニタリング・アセスメントをしている。利用者にプランの説明をし、本人がサインをし、控えを家族に説明し了承を得ることもある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌や生活記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の方が希望されれば、自身の家や馴染みのお店、近所等へ一時帰宅や外出をしている。その際には幼馴染の方や近所の方がよく声をかける。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者同士の関わりの時間と、一人でゆっくり過ごせる時間を両立させ、支援に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	多くの利用者が入居前からのかかりつけ病院を現在も利用されており、病院側も顔馴染みの関係で対応しており、柔軟な対応ができています。	利用者は地域住民の方が多いため、地元のかかりつけ医の受診を継続している方が多い。受診の付添は家族や職員で行っている。協力医の往診も月に2回あり、歯科の往診は必要時に受けることができる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に看護師が入居者の体調管理・把握をし、職員と情報を共有しながら支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日常的に受診・往診の際等に施設のケアマネージャーや利用者の担当職員が病院との関係づくりを行なっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の希望は聞いているが、まだ元気な利用者の終末期については、具体的な話し合いが出来ていない方もいる。	事業所での看取りを行っているが、契約時に終末期の話し合いは、行っていない。今後は終末期のあり方について契約時説明書類を作ることを検討予定である。利用者それぞれの看取り時には、その都度勉強会を開き、プランを作成し家族に説明し了承を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	十分な対応ができていないが今後起こりうる事を勤務中やミーティング時情報交換等は行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の協力で消防訓練を行ない、地域との協力体制ができています。土砂災害、津波対策検討中。	年2回、消防署の協力を得て消火・避難訓練を行っている。地域住民の協力体制は構築できている。食糧・飲料水の備蓄もある。	事業所は海岸に近く、海拔も低い。また古い木造建築であること、地域自体が道が狭く、家屋の密集した地域であることなど、問題点が多い。常日頃から、種々の災害のシュミレーションを職員に促し、指導しておくことが必要と思われる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導等は本人に聞こえる最低限での声量でお誘いし対応をしたりさりげなく誘導している。トイレにはカーテン・ひざ掛けを用意している。入浴ではドアを開けても中の様子が見えにくよう脱衣場にのれんを使用している。	アセスメントより、今まで地域で呼ばれていた「○ちゃん」の呼び名で呼ぶこともある。しかし、馴れ合いを防ぐため、毎月の勤務表に注意事項を記入し、職員に意識付けると共に、ミーティングでも周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	十分できていないが少しでも喜びや悲しみ怒り等思いが言えるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の業務に追われ職員側の動きをしまう事もあるが、本人の思いを大切に可能な限り希望に添えるよう、努力、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	十分できていないが少しでも一人一人の個性がやすい身だしなみに心がけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常的に一緒に食事作り・おやつ作りを行っている。また片付けなどもできるだけ利用者で行っている。	利用していた事業所近くの店が閉店したため、食材は外注としている。朝食は職員・昼食は厨房・夕食は職員と利用者で作り、品数も多い。野菜の皮剥きや切るなど、利用者のできる事を一緒にしている。外食は希望に応じて随時行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に合わせた食事形態で対応。栄養、水分も工夫して摂取してもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後とはいかないが、昼夕の二回は歯磨きやうがいをしてもらっている。歯のない人には、モアブラシや口腔ケア用のウエットティッシュを使用して頂き口腔ケアを行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用して、排泄自立の支援を行っている。以前はリハビリパンツを使用していた利用者が現在は日中のみ布パンツにパッドで過ごされている。	すべてが生活リハビリに繋がるため、トイレでの排泄を大切にしている。夜間もおしめの使用をせず、夜間用のパットで対応している。介護度が重く移乗が難しい場合は、管理者が職員に移乗方法を指導し、実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の工夫と医師の指示による薬剤を使用しながら、個々に応じた便秘予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人の状態に合わせた入浴に心がけています。しかし職員の都合による所も多い。	利用者の体格に合わせ、浴槽の底に台を置いたり、体が滑らないように背中に濡れたタオルを置くなど工夫をし、浴槽に浸かることができるよう配慮している。利用者によっては、職員2人で介助をすることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ベッド以外にもソファを確保したり室内の温度、照明等に気を付け、気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ファイルを準備しており、薬の詳細にて理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。時々飲み忘れ等がある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	心がけて支援しているが、まだ十分ではない。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	外食、コンサート、温泉等、家族にも協力して頂きながら支援している。	事業所周りの外出は、日常的に行っている。外食や温泉・有名歌手のコンサートなどの外出は、職員と共に家族やボランティアの協力を得て行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の利用者は自分でお金を所持されていますが、自己管理の難しい利用者は必要に応じて職員が管理をさせて頂き支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者が全員地域の方で、身内の方も近くに住んでいる方が多く面会に良く来られているのでその際日頃の様子やきになった場合は電話連絡している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音、光、温度などに配慮し居心地のよい空間づくりに努めている。また、生花を飾って季節や癒しを感じて頂けるよう工夫している。	大きく黒光りする柱に囲まれたリビングは、障子や木戸を用いた落ち着いた雰囲気となっている。2階に繋がる階段は幅も広く、屋根組が見える吹き抜けとなっている。2階の廊下の腰板が利用者の手摺り替わりとなり、安全にも配慮されている。段差のある居住空間は、利用者の生活リハビリにも効果を発揮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	十分ではないがリビングと和室で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や好みの物を使ってもらい、居心地よく過ごせる工夫をしている。	利用者の居室は、ソファや椅子・机が持ち込まれ、思い思いの個性的な居室となっている。畳に布団を敷きお人形を寝かせている方、仏壇を持ち込み花や水を供えている方など好みの工夫がされている。広すぎず狭すぎずの適度な空間に、落ち着いた雰囲気を感じられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や階段の手すり、部屋の家具の配置など工夫して自立した生活が送れるよう工夫している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域的に津波等の風水害の避難計画が必要であるが十分計画・訓練が不十分である。	支所が避難場所なので定期的に訓練を行う。	運営推進会議での検討・協力の呼びかけ 部署のミーティングでの検討	6カ月
2		時々情報共有ができていない事がある。	できるだけ多くの職員が情報を日常的に把握し「わからなっ方」「知らなかった」が少なくなる。	情報共有のツールを分かりやすくする。	6カ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(別紙4(3))

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

特定非営利活動法人 あしすと

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他()